

# 競技団体のガバナンス強化支援事業

( 新 規 )

26年度概算要求額：75,221千円

## 目的

競技団体のガバナンス・コンプライアンス機能の強化の仕組みづくりや、ワークショップの開催等を通じた戦略的マネジメント能力の向上を通して、スポーツ振興の土台となる競技団体の基盤・規律の整備を行うとともに、スポーツ指導中の暴力等に関する第三者相談・調査制度を構築することで、**選手が安心してスポーツを行うことのできる環境を整備**し、スポーツを行う者の権利利益の保護及び我が国の国際競技力の向上等を図る。

## 背景

スポーツ基本法（平成23年6月24日公布）において、競技団体には、**スポーツを行う者の権利利益の保護、運営の透明性の確保**が求められており（第5条）、国には、**スポーツ選手の競技技術の向上及びその効果の十分な発揮を図る上で必要な環境整備を行うこと**（第25条）が求められている。また、日本スポーツ振興センター法（平成25年5月10日改正）において、センターには、**スポーツを行う者の権利利益の保護、心身の健康の保持増進及び安全の確保に関する業務及びスポーツに関する活動が公正かつ適切に実施されるようにするため必要な業務を行うこと**が求められている（第15条第1項第5号）。

## 課題

しかし…

### 競技団体の基盤・規律の脆弱性

競技団体のガバナンスの緩み

競技団体の戦略的マネジメント能力の欠如

### 競技団体の不祥事

暴力・セクハラ、補助金等不正受給、人事を巡る問題等

**選手が安心してスポーツができない!**

- ①スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む権利の実現を阻害
- ②我が国の国際競技力の向上・選手強化に影響
- ③スポーツ界のイメージ悪化⇒選手参加・国際交流に影響

## アプローチ（事業概要）

未然防止

紛争解決・抑止

### 競技団体のガバナンス・マネジメントの強化

#### ガバナンス・コンプライアンス機能強化の仕組みづくり

弁護士、会計士等からなる研究会を設置し、法人運営、会計・経理、大会運営、選手選考・指導等における公正・公平性の確保のための制度・仕組みを構築する。

#### 戦略的マネジメント能力向上のためのワークショップの実施

経営戦略・マーケティング等に関するワークショップを開催し、競技団体の戦略的マネジメント能力の向上を図ることで、競技団体の自律・活性化を図る。

### 暴力相談・調査制度の構築

#### スポーツを行う者を暴力等から守る第三者相談・調査制度の構築に関する実践調査研究

弁護士・臨床心理士等の公平・中立な第三者からなる有識者による相談・調査を行う仕組みについて、実践事例を重ねながら、調査研究、検証作業及び制度構築を行い、スポーツを行う者の権利利益の保護を図る。

# コーチング・イノベーション推進事業

(新規)

26年度概算要求額：101,497千円

目的：「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議（タスクフォース）報告書」に基づき、国を挙げてコーチング・コーチの質の向上・保証のための取組を総合的に推進することで、スポーツの健全性の維持・向上を図る。

## 「コーチング推進コンソーシアム」（仮称）

スポーツ関係機関が一堂に会し、コーチングにおける課題の共有及び改善・充実のための連携した取組を推進



以下の取組と連携

### コーチ育成のための「モデル・コア・カリキュラム」の作成

コーチが育成過程において確実に習得すべき知識・技能を明らかにし、「モデル・コア・カリキュラム」を作成する。

- 全国の体育系・教育系（体育専攻）大学の教育内容調査
- コーチング現場の課題を解決するために必要な教育内容の検討
- 「モデル・コア・カリキュラム」の作成

### 「アスリート・アントラージュ」の連携協力推進

競技者・チームを支えるコーチ、家族、マネジャー等の関係者・関係団体（アスリート・アントラージュ）が連携してコーチング環境を改善するための取組を推進する。

- 地域スポーツ・トップスポーツそれぞれのコーチング現場におけるアスリート・アントラージュ連携に向けた課題分析・改善方策検討、研修会の開催、アスリート・アントラージュの交流促進等を実施

### コーチの質保証のための評価システムの開発

スポーツ指導者資格制度の評価及び資格取得後のコーチの活用のための評価に関する指標やフィードバックの仕組み等のシステムを開発する。

- 評価指標やフィードバックのための仕組み等のシステム開発のための現状やニーズの調査・分析
- 評価システムの開発
- 評価システム活用のための実証研究



## 新しい時代にふさわしいコーチングの意識啓発

シンポジウムの開催・リーフレットの作成配布・ウェブサイトの運営等を実施する。



# スポーツにおけるボランティア活動活性化のための調査研究

(新規)

26年度概算要求額 : 61,502千円

【背景】 スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を実現するため、各人がその自発性のもとに、**ボランティア活動を通じてスポーツを支えていくことが不可欠**。

【課題】 我が国のスポーツにおけるボランティア活動の実施割合は、直近10年間は7%~8%で推移しており、その活用は十分ではない。

(スポーツライフ・データ2012 (公財) 笹川スポーツ財団)



【事業内容】 スポーツ(障害者スポーツを含む)におけるボランティア活動の担い手(個人や組織・団体)の要件を整理し、活動の活性化のための今後の方向性と「**支えるスポーツ**」の推進のための具体的方策を取りまとめることによって、一体感や活力あるスポーツ立国の実現のための環境整備に資する。

## 「個人」の活性化

### 「個人」の活動実態調査

スポーツにおけるボランティア活動を実施している「個人」を対象にアンケートやヒアリング調査

- ① 活動場面や役割に求められるスキルや人材像
- ② 全国のスポーツイベントや大会での研修会や継続活用における共通課題

クラブ・団体  
ボランティア  
(クラブ、スポーツ団体)

ボランティア指導者  
(スポーツ指導者、指導者アシスタント)

運営ボランティア  
(クラブ役員、世話役、運搬・運転、競技団体役員等)

イベント  
ボランティア  
(国際的・全国的スポーツ大会)

専門ボランティア  
(審判員、通訳、医療救護、データ処理等)

一般ボランティア  
(給水・給食、受付・案内、記録・掲示、交通整理、運搬・運転、ホストファミリー等)

## 「組織・団体」の活性化

### 「組織・団体」の活動実態調査

ボランティア団体やボランティアバンクについての活動実態調査やトライアル事業による「組織・団体」の活性化具体策の提示

- ① 活動継続のための課題を抽出
- ② トライアル事業 人材と活動のマッチング手法、スポーツイベントからの登録者拡大やボランティア団体創設

## 先進事例調査

### 海外における先進事例調査

- 国際競技大会におけるスポーツボランティアに関する大会期間中のマネジメントや大会後の活動状況などを調査(アメリカ、イギリス等)

## 大会・イベントや地域スポーツ活動での活用と活性化

### ガイドブック(※)の作成・配布

ボランティア活動関連団体や地方公共団体が抱える共通課題の解決策として活用可能なガイドブックを作成・配布

- ① 各団体での課題の解決策を共有
- ② スポーツにおけるボランティア活動の担い手を繋ぐための具体的方策を提示

(※) ガイドブック(参考書)  
《内容例》

- ・スポーツにおけるボランティア活動の分類
- ・各分類の活動概要、役割、人材像、スキル体系
- ・スポーツイベントにおける研修プログラム、イベントマネジメント

活用

一体感や活力あるスポーツ立国を実現

# 地域スポーツの持続可能な推進に向けた調査研究

(新 規)

26年度概算要求額：21,182千円

## 〔背景〕

「スポーツ基本計画」(平成24年3月)において、「住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境を整備することは、地域社会の再生において重要な意義を有するものであるとともに、生涯を通じた住民のスポーツ参画の基盤となるものである」と掲げられている。

## 〔事業内容〕

地域におけるスポーツ活動の様々な役割や機能の整理・分析、今後求められる新たな方向性やマネジメント等について、調査研究を実施することにより、コミュニティの核として持続可能な地域スポーツの推進策の検討を行う。

## 1. 有識者会議の設置

- (1) 本事業の実施に当たっての基本方針等の策定、調査内容の検討。
- (2) 調査結果を踏まえた今後の地域スポーツ推進策の検討。



## 2. 地域スポーツ活動の自立化・継続化に向けた調査

有識者会議で検討された調査内容に基づき、地方公共団体、スポーツ団体、育成支援関係団体、個人に対して質問紙調査やヒアリングを実施し、地域スポーツを取り巻く環境の実態や特色ある先進事例等の収集・分析を実施。

### (具体的内容)

- (1) 地域スポーツにおける**ステークホルダーの実態把握**
- (2) スポーツ団体における**地域間連携の有効性等の検証**
- (3) スポーツ団体における**課題の抽出・共有化**
- (4) 地域コミュニティ再生を目指した**特色ある先進事例の収集・分析**
- (5) 地域スポーツに求められる**新たな役割や機能の把握・分析**
- (6) 特色ある**先進事例集の作成・配布**
- (7) その他

### 地域におけるスポーツ関係団体による 連携・協働体制の確立



- 多様なスポーツ関係団体が連携・協働できる環境を整えることにより、持続可能な地域スポーツの推進に寄与。
- そのためにも、地域スポーツを取り巻く環境の実態や特色ある先進事例を収集・分析し、今後求められる新たな方向性等を把握することが必要。

# 障害者のスポーツ参加における安全確保に関する調査研究

( 新 規 )

26年度概算要求額：30,714 千円

## 事業の目的

障害者のスポーツ参加における安全確保に関し調査研究を行い、成果をガイドブックにまとめて広くスポーツ指導者やボランティアなどに普及・啓発することにより、地域において障害者のスポーツ参加を安全かつ円滑に進められる環境を整備し、障害者のスポーツ参加機会の拡充を図る。

## 事業内容

### ①調査研究協力者会議

- 障害者スポーツや地域スポーツのスポーツ指導者・医師・研究者等の有識者による調査研究協力者会議を設置し、事業方針の検討や調査結果の分析等を実施



### ②安全確保方策の検討

- 先行研究・データを活用し、障害者のスポーツ事故に関し、発生場所や競技種目等による特徴や原因等を調査
- 障害者スポーツ施設等における安全確保に関する実態調査や先進事例の収集
- 調査結果を踏まえた安全確保方策の検討



### ③ガイドブックの作成

- 事故の防止・軽減策等の安全確保方策について、分かりやすいガイドブックを作成し配布
- シンポジウムの開催等を通じて広く周知



- ・障害者が日常的に安全にスポーツに親しめる環境の確保
- ・不安の解消によるスポーツ指導者・ボランティアの障害者スポーツへの参画の拡大

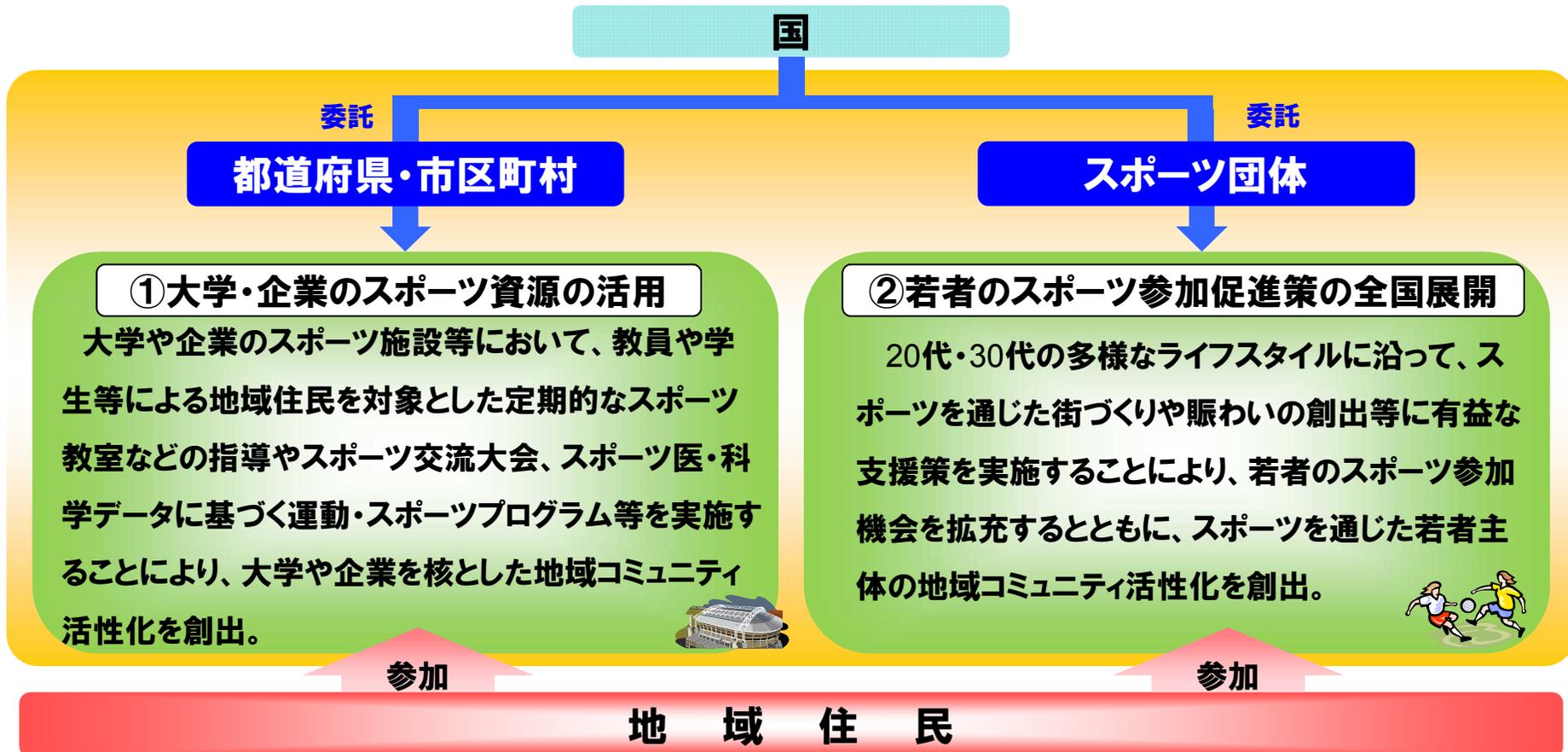
障害者の日常的なスポーツ参加機会の拡充



# スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業

(前年度予算額：124,700千円)  
26年度概算要求額：157,030千円

**趣旨：**①地元の大学や企業などが有する**スポーツ資源（人材・施設）**を効果的に活用した取組  
②スポーツ実施率の低い**若者を対象としたスポーツ参加促進策の全国展開**  
を実施することにより、**地域住民のスポーツへの参加意欲を高め、スポーツによる健康増進を図るとともに、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を促進する。**



**期待される効果**

- スポーツへの参加意欲の向上
- 住民の健康の増進と体力の向上、心のケア
- 地域スポーツを支える人材の資質向上

- 世代間・地域間交流の活性化
  - 地域経済の活性化
  - 子育て支援
- 等

# 地域スポーツとトップスポーツの好循環推進プロジェクト

(前年度予算額:588,866千円)  
26年度概算要求額:644,050千円

- 拠点クラブにおいてトップアスリートを活用し、地域のジュニアアスリート等を指導するとともに、学校に「小学校体育活動コーディネーター」を派遣することなどを通じて、**地域スポーツとトップスポーツの好循環を実現**
- 拠点クラブを核とした**エリアネットワークを構築し、好循環の自立・継続化**

## 好循環の実現

総合型クラブ



スポーツ少年団



学校  
(運動部活動)



小学校  
(体育)



### 「拠点クラブ」を核とした エリアネットワーク構築

#### <実践研究>

- ① 自立・継続に向けた課題の把握・共有化
- ② スポーツ指導者（トップアスリート等）の共有化
- ③ エリアネットワークを活用した共同事業化へ向けた実践

### トップアスリートによる支援

- 地域のジュニアアスリート等を支援



連絡・調整

### 地域課題解決の取組

#### 企画・立案

- ① 学校、地域連携
- ② 健康増進
- ③ 体力向上
- ④ 子育て支援 など



連絡・調整

### 体育の授業等の支援

- 小学校体育活動コーディネーターとしてアスリートスタッフを派遣

